

SINGLE ROPE CONTEST Vol.1 パフォーマンスルール

■競技内容

なわとび(シングルロープ)パフォーマンスを行い、採点基準に則り審査を行い優劣を競う

■採点方式

審査員5名が1人10点満点で評価する。評価の基準は以下に定めた「ディフィカルティ」「クリエイティビティ」「オリジナリティ」の3項目を参考に総合点を評価する。

ディフィカルティ: 多回旋、ステップ、ラップ、リリース、パワー等、難易度に関する総合点

※技毎に得点はなく、あくまで審査員が主観的にみたディフィカルティを評価する。

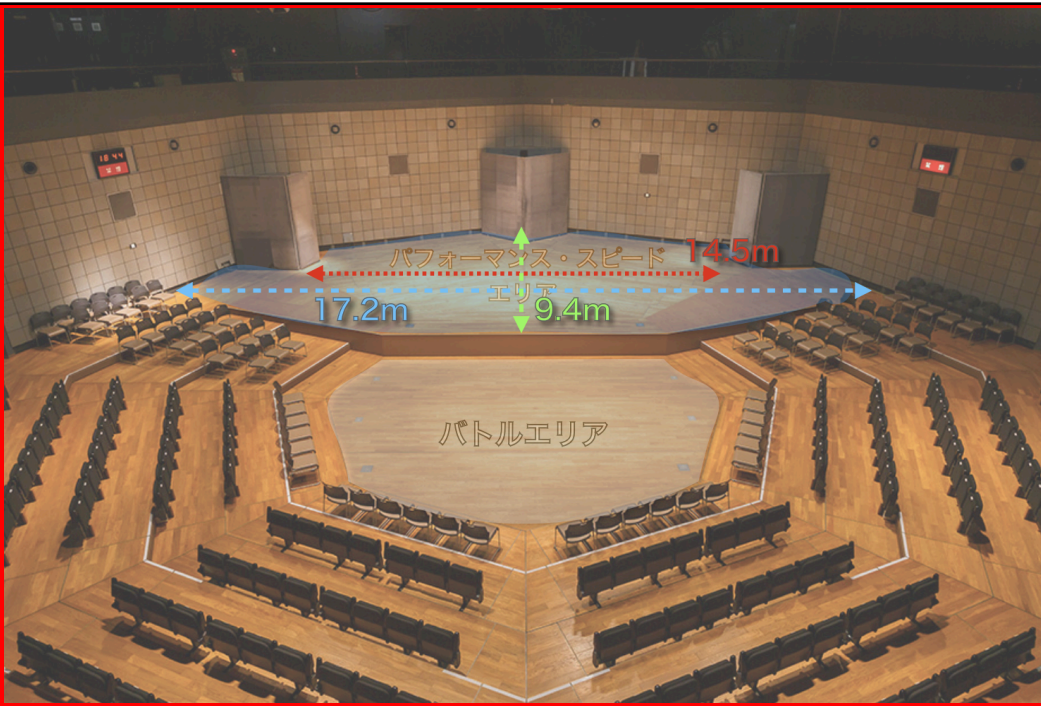
クリエイティビティ: リズムが取れているか、音を使っているか、衣装やフリをうまく活用しているか等、表現に関する総合点

オリジナリティ: アイデンティティがあるか、世界観があるか等、出場者の独創性に関する総合点

＜総合点が同点の場合＞

- ・最も高い点数が多い者が上位になる。
- ・上記でも同じ場合はジャッジが話し合いをして優劣をつける。

■ルール詳細

構成人数	1名以上
カテゴリー	・ジュニア部門(中学生以下) ・シニア部門(高校生以上) * 性別分けはありません
競技時間	2分以内
ロープ	ビニールロープ、ビーズロープ、ワイヤーロープなど1人で跳ぶ用のロープであれば種類や本数は自由
ステージ広さ	画像参照 
開始・終了の合図	パフォーマンス開始方法には、「板付き」と「音先」の2つがある。 板付き: ステージ上に待機してから音楽を流し、パフォーマンスを開始。 音先: 音楽を先に流してからステージに登場して、パフォーマンスを開始。

	<板付きの場合> ①ステージ上でパフォーマンス開始の準備ができた後に、代表者が舞台担当者に手を挙げて準備完了の合図を出す。 ②音響担当者が音楽を流し始める。 ③音楽が始まった時点でパフォーマンス開始とする。 ④音楽が終わった時点でパフォーマンス終了とする。 <音先の場合> ①ステージ外にて、パフォーマンス開始の準備ができた後に、代表者が舞台担当者に手を挙げて準備完了の合図を出す。 ②音響担当者が音楽を流し始める。 ③音楽が始まった時点でパフォーマンス開始とする。 ④音楽が終わった時点でパフォーマンス終了とする。
衣装	公序良俗に反しない衣装を着用
音楽	編集効果(フェードアウトやエコー等)で終わる音も含める。 卑猥なもしくは、汚い言葉が使われている音源は使用しないよう注意すること。 * 2月12日(日)までに指定のフォームから提出 * 音源はmp3形式とする
小道具	自由(ステージを傷つけたり汚したり、観客に危険が及んだりするものは禁止とする)
禁止・失格対象事項	メンバーの増員や変更を行った場合。 ※怪我などやむを得ない事情でメンバーが減少する場合のみ認める。 アクロバット技を行い、助走・踏切・宙返り・着地などにおいて、余裕がなく審査員の過半数が危険と判断した場合。 ロープや選手がステージから落ちてしまった場合

SINGLE ROPE CONTEST Vol.1 スピードルール

■競技内容

30秒でどれだけなわとびを多く跳べるかを競う。

■採点方式

30秒間でかけ足跳びをし、ロープを超えた右足が地面に接地した瞬間を1回と数え、合計跳躍回数を計測する。また、計測審判3名の内、近い回数2名の平均回数を正式記録とする。

(例)「右足、左足、右足、左足、右足」の場合、ジャンプ回数は3回となる。

(例)スピードジャッジによるカウント回数が「90回、92回、94回」のような場合、回数が多い方2名の平均回数とする。

■ルール詳細

カテゴリー	・ジュニア部門(中学生以下) ・シニア部門(高校生以上) * 性別分けはありません
ロープ	ビニールロープ、ビーズロープ、ワイヤーロープなど1人で跳ぶ用のロープであれば種類は自由
開始・終了の合図	「Single Rope Speed Sprint 30 seconds, Judges ready? Athlete ready? set,」後に鳴るビーブ音が開始の合図。 30秒経過を知らせるビーブ音が終了の合図。
減点	開始のビーブ音を聞くまでの間は、ジャンパーは動いてはいけない。この間に「ジャンパーが動き始めた」、「ロープを回し始めた」とジャッジが判断した場合は、不正スタート(フライング)とし、合計跳躍回数から10回をマイナスする。

SINGLE ROPE CONTEST Vol.1 1 on 1バトルルール

■競技内容

なわとび(シングルロープ)を使いDJが流す音に合わせて即興でパフォーマンス(ムーブ)を行う。審査方法に則り、ジャッジがその場で優劣を決める。

■審査方式

明確なポイント制ではなく、音楽との調和、面白さ、見ごたえ、相手の動きに対しての意識などを総合的に判断し、その場で優劣を決める。

■ルール詳細

構成人数	1名
カテゴリー	なし
参加人数	16名 * エントリー16名以上の場合は1ムーブでの予選会を行う
ロープ	ビニールロープ、ビーズロープ、ワイヤーロープなど1人で跳ぶ用のロープであれば種類や本数は自由
ステージ広さ	5m×5m
開始・終了の合図	音楽が流れ始めた後、どちらが先に始めても良いムーブを開始したと判断してから縄の回し始め
衣装	公序良俗に反しない衣装を着用
音楽	DJによる選曲。ブレイキン、ハウス、hipohop、邦楽洋楽、様々な曲が流れます
小道具	自由(ステージを傷つけたり汚したり、観客に危険が及んだりするものは禁止とする)
禁止・失格対象事項	アクロバット技を行い、助走・踏切・宙返り・着地などにおいて、余裕がなく審査員の過半数が危険と判断した場合。

	ロープや体が故意的に対戦相手にぶつかってしまった場合。
--	-----------------------------